

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

①母子の健康保持の支援

32	母子健康手帳の交付	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
妊娠、出産及び育児に関する一貫した健康管理を支援するため、専門職である助産師、保健師が子育て世代包括支援センターなどにおいて、必要な情報提供や助言を行いながら母子健康手帳を交付します。 今後も、子育て世代包括支援センターなどにおいて母子健康手帳を交付します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	医師から妊娠の診断を受け、妊娠届出をした方に、子育て世代包括支援センター、春日部市保健センター、庄和総合支所、武里出張所にて母子健康手帳を交付します。併せて、妊婦健康診査助成券を交付し、必要な情報提供を行います。		
実施内容	医師から妊娠の診断を受け、妊娠届出をした方に、子育て世代包括支援センター、春日部市保健センター、庄和総合支所、武里出張所にて母子健康手帳を交付しました。併せて、妊婦健康診査助成券を交付し、必要な情報提供を行いました。（母子手帳交付：1,165件）		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	1,070 千円	決算額 889,130 円

33	妊婦健康診査	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
妊婦健康診査は、妊婦の健康の保持増進を図り、安心・安全な妊娠・出産を迎えられるよう、実施するものです。母子健康手帳交付時に妊婦健康診査等の助成券を交付します。 今後も、妊婦健康診査に係る自己負担金の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、受診率の向上に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
第1回目の受診率（1回目の受診者数／新規母子健康手帳の交付数）		95.7%	97.0%
目標値の根拠		過去3年間で最も高い受診率（96.4%）を参考に97.0%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
96.8%	98.6%	101.9%	A
実施予定内容	- 母子健康手帳交付時に妊婦健康診査助成券を交付します。 - 内容：妊婦健康診査14回（1回のうちHBs抗原検査、HCV抗体検査、風疹抗体検査）、HIV抗体検査、子宮頸がん検査、HTLV-1抗体検査、性器クラミジア検査		
実施内容	母子手帳交付時に妊婦健康診査助成券を交付しました。 妊娠届出数：1,165件（分娩後交付は除く）妊婦健康診査14回13,264件（うち1回目：1,149件、HBs抗原検査1,149件、HCV抗体検査1,149件、風疹抗体検査1,149件）、HIV抗体検査1,147件、子宮頸がん検査1,114件、HTLV-1抗体検査1,106件、性器クラミジア検査1,091件		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	119,757 千円	決算額 102,671,990 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

①母子の健康保持の支援

34	妊婦歯科健康診査	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
妊婦歯科健康診査は、妊婦の歯周疾患の早期発見と口腔衛生に関する正しい知識の普及により、妊婦及び胎児の健康増進を図ることを目的に行うものです。 今後も、妊婦歯科健康診査を実施し、妊娠期から出産後の母子の口腔衛生に関する健康意識を高めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
受診率（妊婦歯科健康診査受診者数／母子健康手帳の交付数）		20.4%	24.5%
目標値の根拠		過去3年間で最も高い受診率（23.3%）を参考に24.5%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
24.5%	25.5%	104.1%	A
実施予定内容	- 母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査の必要性を説明し、受診券を交付します。 - 市内42医療機関へ委託し、個別に実施します。 - 妊婦歯科健康診査実施医療機関へポスターの掲示を依頼します。		
実施内容	- 母子健康手帳交付時に妊婦歯科健康診査の必要性を説明し、受診券を交付しました。 - 市内42医療機関へ委託し、個別に実施しました。 - 妊婦歯科健康診査実施医療機関へポスターの掲示を依頼しました。		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	1,270 千円	決算額 1,073,920 円

35	予防接種	担当課	健康課
事業概要及び今後の方向性			
予防接種は、予防接種法などに基づき、感染症の予防に有効な予防接種（ロタウイルス※、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん）を実施医療機関での個別接種として実施するものです。 予防接種の種類が増え内容が複雑化しているため、実施医療機関との連携を強化し、適切な接種勧奨に努めます。また、予防接種の間違い防止、健康被害に対する適切な対応に力を入れ、被接種者が必要な予防接種を安全・適切に受けられるよう、接種履歴データの活用と相談体制の充実を図ります。 ※定期接種化しているため、追加しています。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
接種率		94.2%	95.0%
目標値の根拠		こどもの健康を守り感染症の流行を減少させるため、国で定めた接種率を目標としています。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
95.0%	93.2%	98.1%	A
実施予定内容	市民への適切な周知（接種勧奨）及び相談体制の充実、予防接種ナビの利用促進、並びに医療機関との円滑な連携に努め、接種率の向上、予防接種間違いゼロを目指します。		
実施内容	麻しん風しん混合、二種混合、日本脳炎のハガキによる接種勧奨や広報等での周知を実施しました。また、予防接種綴りを個別送付する際に、予防接種ナビのチラシを同封等し、利用促進をしました。		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	584,315 千円	決算額 437,911,721 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

①母子の健康保持の支援

36	乳幼児健康相談	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
乳幼児健康相談は、乳幼児が心身ともに健康に育つことを目的として、身体計測、育児相談、栄養相談、言語・心理及び運動の発達相談を実施するものです。 今後も、乳幼児健康相談を実施し、保護者の育児不安の解消に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	春日部市保健センター、庄和保健センター、春日部市役所（こども相談課）で実施します。 対象：就学前の乳幼児 内容：身体計測、育児相談、栄養相談、発達相談 ※保護者の不安を解消し乳幼児の成長における適切な支援、対応を実施します。 周知方法：コミュニケーションカレンダー、安心安全メール		
実施内容	春日部市保健センター、庄和保健センター、春日部市役所（こども相談課）で実施します。 対象：就学前の乳幼児 内容：身体計測、育児相談、栄養相談、発達相談 ※保護者の不安を解消し乳幼児の成長における適切な支援、対応を実施します。 周知方法：コミュニケーションカレンダー、安心安全メール 実施回数：春日部市保健センター（12回）、庄和保健センター（12回）、ST相談（12回）、心理相談（6回）		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	1,424 千円	決算額 1,267,110 円

37	4か月児健康診査	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
4か月児健康診査は、4か月から5か月未満の乳児を対象に発育発達の遅れの早期発見及び健康の保持増進を目的とし、市内の医療機関において実施するものです。 今後も、4か月児健康診査を実施するとともに、かすかべびーず訪問において4か月児健康診査の必要性を説明しながら受診勧奨を行い受診率の向上に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
受診率（受診児数／対象児数）		96.7%	98.0%
目標値の根拠		過去3年間で最も高い受診率（97.5%）を参考に98.0%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
97.5%	95.3%	97.7%	A
実施予定内容	対象：4か月から5か月未満児 内容：発育・栄養状態、神経・運動機能の発達検査 周知：4か月児健康診査票をかすかべびーず訪問にて、母子保健推進員、保健師が配布します。 方法：市内の21医療機関に委託し、実施します。		
実施内容	対象：4か月から5か月未満児 内容：発育・栄養状態、神経・運動機能の発達検査 周知：4か月児健康診査票をかすかべびーず訪問にて、母子保健推進員、保健師が配布しました。 方法：市内の21医療機関に委託し、実施しました。 対象児数：1,191人、受診児数：1,135人		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	7,574 千円	決算額 6,350,914 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

①母子の健康保持の支援

38	10か月児健康診査	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
10か月児健康診査は、9か月から1歳未満の乳児を対象に、運動機能の発達や発育の遅れなどの早期発見及び健康の保持増進を目的として、実施するものです。 今後も、10か月児健康診査を実施するとともに、未受診者に対して保健師が家庭訪問などにより受診勧奨を行い、受診率の向上に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
受診率（受診児数／対象児数）		97.1%	98.0%
目標値の根拠		過去3年間で最も高い受診率（97.7%）を参考に98.0%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
97.0%	97.2%	100.2%	A
実施予定内容	春日部市保健センター、庄和保健センターで集団にて実施。 対象：9か月から1歳未満 内容：問診、身体計測、診察（内科）、育児相談、栄養相談 周知方法：ゴミニケーションカレンダー、個別通知		
実施内容	春日部市保健センター、庄和保健センターで集団にて実施しました。 対象：9か月から1歳未満 内容：問診、身体計測、診察（内科）、育児相談、栄養相談 周知方法：ゴミニケーションカレンダー、個別通知 実施回数：36回 対象児数：1,209人、受診児数：1,175人		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	5,795 千円	決算額 5,679,826 円

39	1歳6か月児健康診査	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
1歳6か月児健康診査は、1歳6か月から2歳未満の乳児を対象に、運動機能の発達や発育の遅れなどの早期発見及び健康の保持増進を目的とし、実施するものです。 今後も、1歳6か月児健康診査を実施するとともに、未受診者に対して母子保健推進員や保健師が家庭訪問などにより受診勧奨を行い、受診率の向上に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
受診率（受診児数／対象児数）		96.7%	98.0%
目標値の根拠		過去3年間で最も高い受診率（97.6%）を参考に98.0%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
97.5%	94.7%	97.1%	A
実施予定内容	春日部市保健センター、庄和保健センターで集団にて実施します。 対象：1歳6か月児から2歳児未満 内容：問診、身体測定、診察（内科・歯科）、育児相談、栄養相談、心理相談、ブラッシング指導 周知方法：個別通知、ゴミニケーションカレンダー		
実施内容	春日部市保健センター、庄和保健センターで集団にて実施しました。 対象：1歳6か月児から2歳児未満 内容：問診、身体測定、診察（内科・歯科）、育児相談、栄養相談、心理相談、ブラッシング指導 周知方法：個別通知、ゴミニケーションカレンダー 実施回数：36回 対象児数：1,287人、受診児数：1,219人		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	9,842 千円	決算額 9,340,290 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

①母子の健康保持の支援

40	1歳6か月児健康診査歯科指導	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
1歳6か月児健康診査歯科指導は、1歳6か月児健康診査時に、歯の健康についての講話を行い、むし歯のある幼児の保護者に対して、ブラッシング指導及び保健指導を実施するものです。 今後も、引き続きブラッシング指導及び保健指導を実施します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	春日部市保健センター、庄和保健センターで集団にて実施します。 対象：1歳6か月児から2歳児未満 内容：歯科衛生士によるブラッシング指導		
実施内容	春日部市保健センター、庄和保健センターで集団にて実施しました。 対象：1歳6か月児から2歳児未満 内容：歯科衛生士によるブラッシング指導		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	250 千円	決算額 249,480 円

41	（親子教室）1歳6か月児健康診査2次指導	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
1歳6か月児健康診査後、言葉の遅れもしくは社会情緒的発達面での遅れなどが疑われる幼児やその保護者に対し、適切な支援により発達を促すとともに、保護者同士の交流の場を提供するものです。 今後も、引き続き発達面での遅れなどが疑われる幼児やその保護者に対し、適切な支援を行います。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	年42回 春日部市保健センターで実施します。（3歳5か月児健康診査2次指導と併せて親子教室として実施） 対象：全体的な発達の遅れなどが疑われる、おおむね1歳6か月～3歳の幼児とその保護者 内容：個別の相談及び指導、遊びを通してのグループ指導		
実施内容	年42回 参加者実人数：60人 延べ人数：309人 春日部市保健センターで実施しました。 対象：全体的な発達の遅れなどが疑われる、おおむね1歳6か月以上の幼児とその保護者 内容：個別の相談及び指導、遊びを通してのグループ指導		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	3,572 千円	決算額 3,186,259 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

①母子の健康保持の支援

42	3歳5か月児健康診査	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
3歳5か月から4歳未満の幼児を対象に、発育及び精神発達の遅れや弱視、難聴などの早期発見及び健康の保持増進を目的として、実施するものです。 今後も、3歳5か月児健康診査を実施するとともに、未受診者に対して母子保健推進員や保健師が家庭訪問などにより受診勧奨を行い、受診率の向上に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
受診率（受診児数／対象児数）		93.6%	96.0%
目標値の根拠		過去3年間で最も高い受診率（95.0%）を参考に96.0%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
95.0%	92.6%	97.5%	A
実施予定内容	春日部市保健センター・庄和保健センターで集団にて実施します。 対象：3歳から4歳未満 内容：問診、尿検査、眼・耳に関するアンケート、屈折検査、身体計測、診察（内科・歯科）、育児相談、栄養相談、心理相談、ブラッシング指導		
実施内容	春日部市保健センター・庄和保健センターで集団にて実施しました。 対象：3歳から4歳未満 内容：問診、尿検査、眼・耳に関するアンケート、屈折検査（R4.10月から）、身体計測、診察（内科・歯科）、育児相談、栄養相談、心理相談、ブラッシング指導 実施回数：36回、対象者数：1,368名、受診者数：1,267名		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	10,651 千円	決算額 10,254,433 円

43	3歳5か月児健康診査歯科指導	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
3歳5か月児健康診査歯科指導は、3歳5か月児健康診査時に、歯の健康についての講話を行い、むし歯のある幼児の保護者に対して、ブラッシング指導及び保健指導を実施するものです。 今後も、引き続きブラッシング指導及び保健指導を実施します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
むし歯のない3歳児の割合（むし歯のない3歳児数／受診児数）		84.4%	86.0%
目標値の根拠		過去3年間で最も高い受診率（84.4%）を参考に86.0%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
92.0%	92.5%	100.5%	A
実施予定内容	春日部市保健センター、庄和保健センターで集団にて実施します。 対象：3歳から4歳児未満 内容：歯科衛生士によるブラッシング指導		
実施内容	春日部市保健センター、庄和保健センターで集団にて実施しました。 対象：3歳から4歳児未満 内容：歯科衛生士によるブラッシング指導 実施回数：36回		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	250 千円	決算額 242,550 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

①母子の健康保持の支援

44	(幼児教室) 3歳5か月児健康診査2次指導				担当課	こども相談課	
事業概要及び今後の方向性							
3歳5か月児健康診査後、言葉の遅れもしくは社会情緒的発達面での遅れなどが疑われる幼児やその保護者に対し、適切な支援を行い、発達を促すとともに、保護者同士の交流の場を提供するものです。 今後も、引き続き発達面での遅れなどが疑われる幼児やその保護者に対し、適切な支援を行います。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
—				—		—	
目標値の根拠				—			
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容		令和4年度から（親子教室）1歳6か月児健康診査2次指導と併せて実施しています。					
実施内容		令和4年度から「（親子教室）1歳6か月児健康診査2次指導」（事業番号41参照）と併せて実施しています。					
予算/決算		令和5年度					
		予算額	—	千円	決算額	—	円

45	コミュニケーション・健康情報カレンダーによる情報提供	担当課	健康課 こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
こどもの健康に関する情報を提供するため、各世帯に配布しているコミュニケーション・健康情報カレンダーに、乳幼児健康診査や予防接種、市内医療機関一覧などの情報を掲載するものです。 今後も、わかりやすい紙面づくりに取り組むとともに、必要な情報をすべての家庭に提供できるよう努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	・公共施設等で令和5年度版を配布します。 ・こどもの定期予防接種に関する内容や市内医療機関の一覧など、市民にとって必要な情報を掲載した令和6年度版を作成します。		
実施内容	ゴミニケーション・健康情報カレンダーに乳幼児の健診や予防接種などのこどもの健康に関する情報を掲載し、広報かすかべ3月号と同時に各世帯に配布するとともに、市内公共施設で配布しました。また、PDFデータを市公式ホームページに掲載しました。 ※決算額は、健康課分（24,000部）のみ（リサイクル推進課、こども相談課分は含まない）		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	2,376 千円	決算額 1,821,600 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

①母子の健康保持の支援

45	ゴミニケーション・健康情報カレンダーによる情報提供	担当課	健康課 こども相談課		
事業概要及び今後の方向性					
こどもの健康に関する情報を提供するため、各世帯に配布しているゴミニケーション・健康情報カレンダーに、乳幼児健康診査や予防接種、市内医療機関一覧などの情報を掲載するものです。 今後も、わかりやすい紙面づくりに取り組むとともに、必要な情報をすべての家庭に提供できるよう努めます。					
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）		
—		—	—		
目標値の根拠		—			
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価		
—	—	—	—		
実施予定内容	公共施設や各自治会を通じて、令和5年度版を配布します。 令和6年度よりゴミニケーション・健康情報カレンダーに、乳幼児健康診査の情報掲載の予定なし。				
実施内容	公共施設や各自治会を通じて、令和5年度版を配布しました。				
予算/決算	令和5年度				
	予算額	—	千円	決算額	—

46	保健センターの充実				担当課	健康課	
事業概要及び今後の方向性							
保健センターでは、健康づくり支援の事業拠点として、健康増進事業（各種がん検診・健康教育・健康相談など）、母子保健事業（母子健康手帳の交付・乳幼児健康診査・乳幼児健康相談など）、精神保健事業などを実施しています。 今後も、引き続き健康づくり支援を行うため、健康管理体制の強化や健康増進のための事業拠点として、保健センターの整備・充実を図ります。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
—				—		—	
目標値の根拠				—			
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容		健康増進事業（各種がん検診・健康教育・健康相談等）、母子保健事業（母子手帳の交付・乳幼児健康診査・相談等）、精神保健事業、その他健康づくり支援事業を実施します。					
実施内容		健康増進事業（胃がん検診（X線）・乳がん検診・健康教育・健康相談等）、母子保健事業（母子手帳の交付・乳幼児健康診査・相談等）、精神保健事業、その他健康づくり支援事業を実施しました。					
予算/決算		令和5年度					
		予算額	—	千円	決算額	—	円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

②健康教育の支援

47	両親学級（ママパパ学級）	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
両親学級（ママパパ学級）は、出産を迎える妊婦及びその夫に対し、妊娠、分娩、栄養、育児、及び歯科についての講義、赤ちゃんのお風呂の入れ方、母乳ケアなどの実技指導を実施するものです。 今後も、妊娠、分娩及び育児についての知識と技術を提供し、必要に応じて健康相談を実施することで、安心して出産・育児が迎えられるよう支援します。また、仲間づくりの場としても活用します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
受講者（ママ）アンケート満足度90点以上の割合		80.7%	87.0%
目標値の根拠		内容を理解していただくことで、安心して出産・育児を迎えられるよう、87.0%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
85.0%	79.4%	93.4%	A
実施予定内容	春日部市保健センターで実施します。 ・歯科医師（歯科保健）・管理栄養士（妊産婦の栄養）講話 ・沐浴体験・育児体験、乳房ケアについて、他保健師・助産師講話		
実施内容	春日部市保健センターで実施しました。1回目：12回 2回目：12回 2回目受講者（ママ）170名のうち満足度90点以上：135名 ・歯科医師（歯科保健）・管理栄養士（妊産婦の栄養）講話 ・沐浴見学・育児体験、乳房ケアについて、他保健師・助産師講話		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	420 千円	決算額 389,601 円

48	孫育て教室	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
孫育て教室は、孫を迎える祖父母、または、生後6か月ごろまでの乳児の保護者を支援しようとする者を対象に、育児について、離乳食・おやつについての講話、沐浴体験を実施するものです。 今後も、育児中の保護者の理解者、支援者となり、保護者とともに育児が行えるよう、また、地域の子育て支援活動を推進するために、育児情報を提供します。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
受講者数		60人	65人
目標値の根拠		毎年度1人程度の増加を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
45人	38人	84.4%	A
実施予定内容	・年3回 春日部保健センターで実施します。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度から定員を各回18人に減らして実施している） ・保健師講話（育児について）、管理栄養士講話（離乳食、おやつについて）、沐浴演習		
実施内容	・年3回 春日部保健センターで実施しました。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和2年度から定員を各回18人に減らして実施） ・保健師講話（育児について）、管理栄養士講話（離乳食、おやつについて）、沐浴演習		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	28 千円	決算額 28,000 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

②健康教育の支援

49	乳幼児応急手当講習会	担当課	こども相談課		
事業概要及び今後の方向性					
乳幼児の事故防止と応急手当ができるよう、乳幼児に対する心肺蘇生法などの講習を実施するものです。今後も、引き続き乳幼児の事故防止を図ることができるよう、乳幼児応急手当講習会を開催します。					
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）		
受講者数		122人	140人		
目標値の根拠		対象者の見直しや募集方法を検討し、毎年度3人程度の増加を目標とします。			
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価		
105人	98人	93.3%	A		
実施予定内容	年7回 春日部市保健センターで実施します。 家庭内で起こりやすい不慮の事故について、乳幼児の心肺蘇生法、気道異物除去法について講義・実技を行います。対象者：妊婦とその夫 定員18人				
実施内容	年7回 春日部市保健センターで実施しました。98人参加 家庭内で起こりやすい不慮の事故について、乳幼児の心肺蘇生法、気道異物除去法について講義・実技を行いました。				
予算/決算	令和5年度				
	予算額	—	千円	決算額	—

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

③訪問指導による育児支援

50	かすかべびーず訪問(乳児家庭全戸訪問事業)(地域子ども・子育て支援事業)	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
かすかべびーず訪問(乳児家庭全戸訪問事業)は、子育て支援のため、母子保健推進員、保健師などが生後2か月頃の赤ちゃんのいる家庭を訪問し、母子の様子を確認しながら、子育てに関する相談や情報提供を行うものです。また、訪問時に4か月児健康診査票などを手渡し、受診勧奨に努めるものです。 今後も、引き続き訪問を実施し、受診勧奨と情報提供を行います。			
指標		現状値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
訪問実施率(訪問時面接した数/対象児数)		93.6%	95.0%
目標値の根拠		過去3年間で最も高い訪問実施率(93.6%)を参考に95.0%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
94.0%	94.9%	101.0%	A
実施予定内容	生後2か月頃の赤ちゃんのいる家庭を訪問し、母子の様子を確認しながら、子育てに関する相談や子育て支援の情報提供を行います。		
実施内容	生後2か月頃の赤ちゃんのいる家庭を訪問し、母子の様子を確認しながら、保護者のニーズに寄り添い、子育てに関する相談や子育て支援の情報提供を行いました。また、新生児訪問を行っている助産師と連携を図り、個別に対応が必要なケースについては地区担当の保健師が訪問し、早期介入、継続フォローに努めています。		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	2,440 千円	決算額 1,941,400 円

51	妊婦産婦訪問	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
妊婦産婦訪問は、出産や育児に不安を抱える妊婦や産婦に対し、疾病予防や異常の早期発見など、適切な対処の方法について、保健師・助産師などが訪問し指導を行うものです。 今後も、引き続き適切な訪問指導を実施します。			
指標		現状値(平成30年度)	目標値(令和6年度)
訪問指導を希望する妊産婦への訪問実施率		97.7%	100.0%
目標値の根拠		訪問指導を希望する妊婦産婦の全家庭への訪問を目指し、100%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
98.0%	96.0%	97.9%	A
実施予定内容	出生連絡票または電話による連絡や、出生届が提出された家庭へ、市から委託をした助産師または保健師が訪問します。		
実施内容	出生連絡票又は電話による連絡や、出生届が提出された家庭へ助産師又は保健師が訪問しました。 実施方法：事業委託した助産師・地区担当保健師による訪問 訪問件数：1,068件		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	3,940 千円	決算額 5,953,505 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

③訪問指導による育児支援

52	養育支援訪問事業（地域子ども・子育て支援事業）				担当課	こども相談課	
事業概要及び今後の方向性							
養育支援訪問事業は、保護者の養育を支援することが特に必要と認められる家庭を対象に、保健師、助産師、児童指導員等の専門職が訪問し、相談、支援を行うものです。 今後も、対象家庭の訪問を実施します。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
—				—		—	
目標値の根拠				—			
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容		こども支援課からの養育医療給付申請者についての情報提供や出生連絡票のはがき、医療機関からの養育支援連絡票により対象者を把握し助産師または保健師が訪問を行います。					
実施内容		こども支援課からの養育医療給付申請者についての情報提供や、医療機関からの養育支援連絡票により対象者を把握し保健師または助産師が訪問を行いました。 訪問件数：120件					
予算/決算		令和5年度					
		予算額	—	千円	決算額	—	円

53	新生児訪問（乳児家庭全戸訪問事業）（地域子ども・子育て支援事業）				担当課	こども相談課	
事業概要及び今後の方向性							
新生児訪問は、新生児のいる家庭に保健師、助産師などの専門職が訪問を行い、保護者の精神的な負担の軽減を図るとともに、新生児の健康状態を把握し必要な助言を行うものです。 今後も、引き続き新生児の健全な発育と母親への育児支援を目的として訪問指導を行います。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
新生児への訪問実施率				97.8%		100.0%	
目標値の根拠				新生児期の全家庭への訪問を目指し、100%を目標とします。			
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価	
98.0%		95.5%		97.4%		A	
実施予定内容		出生連絡票または電話による連絡や、出生届が提出された家庭へ、市から委託をした助産師または保健師が訪問します。					
実施内容		出生連絡票又は電話による連絡や、出生届が提出された家庭へ助産師又は保健師が訪問しました。 実施方法：事業委託した助産師・地区担当保健師による訪問 訪問件数：1,062件					
予算/決算		令和5年度					
		予算額	3,940	千円	決算額	6,352,460	円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

④不妊・不育症に関わる経済的支援

54	早期不妊検査費助成事業				担当課	こども相談課	
事業概要及び今後の方向性							
少子化対策の一環として、不妊検査を受けた夫婦に対し、検査に要した費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。 今後も、引き続き制度の周知を図り、対象夫婦に助成を行います							
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）		
—			—		—		
目標値の根拠			—				
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容	不妊検査を受けた夫婦に対し、検査に要した費用の一部を2万円を上限に助成します。						
実施内容	・不妊検査を開始時の妻の年齢が35歳未満の夫婦に対し、検査に要した費用の一部3万円を上限に助成しました。助成件数46件 ・不妊検査を開始時の妻の年齢が35歳以上43歳未満の夫婦に対し、検査に要した費用の一部2万円を上限に助成しました。助成件数21件						
予算/決算	令和5年度						
	予算額	1,400	千円	決算額	1,689,000	円	

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

④不妊・不育症に関わる経済的支援

55	不育症検査費助成事業				担当課	こども相談課	
事業概要及び今後の方向性							
少子化対策の一環として、不育症検査を受けた夫婦に対し、検査に要した費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。 今後も、引き続き制度の周知を図り、対象夫婦に助成を行います。							
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）		
—			—		—		
目標値の根拠			—				
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容	不育症検査を受けた夫婦に対し、検査に要した費用の一部を2万円を上限に助成します。						
実施内容	・不育症検査を開始時の妻の年齢が35歳未満の夫婦に対し、検査に要した費用の一部3万円を上限に助成しました。助成件数2件 ・不育症検査を開始時の妻の年齢が35歳以上43歳未満の夫婦に対し、検査に要した費用の一部2万円を上限に助成しました。助成件数3件						
予算/決算	令和5年度						
	予算額	200	千円	決算額	120,000	円	

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-1 親と子の健康生活の充実

④不妊・不育症に関わる経済的支援

56	早期不妊治療費助成事業				担当課	こども相談課	
事業概要及び今後の方向性							
少子化対策の一環として、特定不妊治療を受けた夫婦に対し、治療に要した費用の一部を助成し、経済的負担の軽減を図ります。 今後も、引き続き制度の周知を図り、対象夫婦に助成を行います。							
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）		
—			—		—		
目標値の根拠			—				
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価	
—		—		—		—	
実施予定内容	令和4年4月から不妊治療費が保険適用になったことに伴い、早期不妊治療費の助成は廃止となりました。						
実施内容	—						
予算/決算	令和5年度						
	予算額	—	千円	決算額	—	円	

基本目標2 子どもの健やかな成長の支援 2-2 心身を育む食育の推進

①食に関する情報提供・学習機会の実施

57	保育所給食	担当課	保育課
事業概要及び今後の方向性			
保育所給食は、こどもたちの発育・発達のための役割や、食事を通じた教育的な役割、保護者支援の役割を持つもので、保育の中で、食への関心を育み、心身ともに健康的な生活ができる力を培うものです。 今後も、地産地消の推進に取り組むほか、収穫体験やクッキング保育、食育教室など食育の充実を図るとともに、広報紙やホームページなどにより、事業の周知に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
—		—	—
目標値の根拠		—	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
—	—	—	—
実施予定内容	公立保育所（公設公営施設7か所）に入所しているこどもの健やかな成長のために、その成長に合ったバランスのよい給食を提供します。管理栄養士が各保育所を巡回したり、クッキング保育を再開し、楽しく学べる食育を実施します。また、ホームページの食育ページを見直し、より充実した内容とします。		
実施内容	保育課管理栄養士が各保育所を年2回巡回し、食育教室を実施した他、小学校の栄養職員と連携して保育所のこども達に年4回食育を実施しました。広報では年3回保育所の食育についてPRしました。また、各保育所で年2回以上クッキング保育を実施しました。		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	—	千円 決算額 — 円

58	離乳食教室	担当課	こども相談課
事業概要及び今後の方向性			
離乳食に関する情報の提供と、同じ月齢の乳児をもつ母親の交流の機会を設けることを目的に、講話、試食提供、交流会を実施するものです。 今後も、離乳食に関する正しい情報を提供するとともに、母親同士の交流の機会を設けます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
参加者の満足度（アンケートで「参加してよかった」の回答率）		89.0%	100.0%
目標値の根拠		参加者全員が離乳食の進め方について理解を深め、不安の軽減が図れるように100%を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
92.0%	91.4%	99.3%	A
実施予定内容	対象：【スタート編】おおむね4か月児の母等育児に携わる人 【ステップアップ編】おおむね7か月児の母等育児に携わる人 内容：離乳食の進め方についての講義と講義と交流会、事故予防の講話 周知：4か月児健康診査のお知らせに同封し、かすかべびーず訪問にて配布等		
実施内容	対象：【スタート編】おおむね4か月児の母親等育児に携わる人 【ステップアップ編】おおむね7か月児の母親等育児に携わる人 内容：離乳食の進め方についての講義と交流会、事故予防の講話 周知：4か月児健康診査のお知らせに同封し、かすかべびーず訪問にて配布等 実施回数：48回 参加人数：655人 アンケートで「参加してよかった」の回答数：回答数477人中436人		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	936	千円 決算額 756,392 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-2 心身を育む食育の推進

①食に関する情報提供・学習機会の実施

59	学校給食	担当課	学校給食課 指導課		
事業概要及び今後の方向性					
市内の全小中学校・義務教育学校において、児童生徒の豊かな心を育む安心・安全でおいしい給食を提供するものです。 今後も、学校栄養職員による「食に関する指導」や地産地消の推進など、食育の充実を図ります。また、児童生徒のアレルギーへの対応のため、教職員を対象とした研修会などを開催します。					
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）		
—		—	—		
目標値の根拠		—			
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価		
—	—	—	—		
実施予定内容	・給食時間等を活用し、学校栄養職員による食に関する指導を行います。 ・食物アレルギー専用の食器を使用し、児童・生徒への除去食等を実施します。 ・食物アレルギー対応研修会等を開催し研修を深め、より安心安全な給食を実施します。 ・農産物への理解を深めるために、生産者から直接農産物を購入する仕組みを活用し、地産地消の推進に取り組んでまいります。また、学校ファームで育てた野菜を給食に取り入れます。				
実施内容	・給食時間等を活用し、学校栄養職員による食に関する指導を年12回以上行いました。 ・アレルギー児童・生徒への除去食等の提供を確実に実施するため、アレルギー専用の食器を使用し除去食を提供しました。 ・6月・11月を地場産利用の強化月間と定め、地産地消の利用推進に取り組みました。また、生産者から直接購入した16品目の野菜等や学校ファームで育てた野菜等も給食に取り入れました。 ・アレルギー対応研修会を1回開催し、研修内容を全校に周知しました。				
予算/決算	令和5年度				
	予算額	—	千円	決算額	—

59	学校給食	担当課	学校給食課 指導課		
事業概要及び今後の方向性					
市内の全小中学校・義務教育学校において、児童生徒の豊かな心を育む安心・安全でおいしい給食を提供するものです。 今後も、学校栄養職員による「食に関する指導」や地産地消の推進など、食育の充実を図ります。また、児童生徒のアレルギーへの対応のため、教職員を対象とした研修会などを開催します。					
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）		
—		—	—		
目標値の根拠		—			
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価		
—	—	—	—		
実施予定内容	学校給食を核とした地産地消など、食育の充実を図ります。 教職員対象の「アレルギー対応エビペン研修会」を市内小中学校・義務教育学校において実施します。				
実施内容	学校給食を核とした地産地消や食文化の理解などの充実を図りました。				
予算/決算	令和5年度				
	予算額	—	千円	決算額	—

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2－3 思春期の健康教育の充実

①性や性感染症予防および喫煙・薬物乱用防止に関する知識の普及

60	思春期の知識の普及	担当課	健康課
事業概要及び今後の方向性			
思春期の知識の普及として、市内の高校生を対象に思春期の健康管理、性や性感染症予防に関する知識の普及を図るため、リーフレットを配布するものです。 今後も、引き続き啓発に努めます。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
配布枚数		955枚	1,000枚
目標値の根拠		実績等から現状値を維持していくことを目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
1,000枚	6,330枚	633.3%	A
実施予定内容	思春期の知識の普及として、市内高等学校高校生を対象に思春期の健康管理、性や性感染症予防に関する知識の普及を図るため、リーフレットを配布します。尚、令和3年度までは市内高等学校で行う献血に参加した生徒へのみチラシを配布していましたが、令和4年度からは市内高等学校高校生全生徒を対象としました。		
実施内容	思春期の知識の普及として、市内高等学校6校の全校生徒を対象に思春期の健康管理、性や性感染症予防に関する知識の普及を図るため、リーフレットを配布しました。令和5年度には市内中高一貫校の中学生にもリーフレットを配布しました。（6,330枚中341枚）		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	13 千円	決算額 12,210 円

61	20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーン (未成年者飲酒・喫煙防止キャンペーン)	担当課	健康課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性			
20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーンは、市内の酒及びたばこ小売組合が、20歳未満者の健全な育成の一助とするため、駅頭にて「20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーン」を行うものです。実施に際しては、市をはじめ市教育委員会、春日部警察署、春日部税務署などが後援・支援を行うほか、市内の高校生の協力を得て、キャンペーン用チラシ・ティッシュを配布しています。また、「二十歳を祝う会」の参加者へリーフレットを配布するものです。 今後も、引き続き啓発に努めます。 ※民法改正に伴い、従前”未成年者”と表記していたものを”20歳未満の者”へと表記を変更			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
配布枚数		10,000枚	10,000枚
目標値の根拠		実績等から現状値を維持していくことを目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
10,000枚	1,472枚	14.7%	B
実施予定内容	・20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーンでキャンペーン用チラシ・ティッシュを配布します。 ・「二十歳を祝う会」の参加者へ喫煙防止に関するリーフレットを配布します。		
実施内容	20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーンではキャンペーンティッシュを市内高等学校の全校生徒に配布しました。令和5年度よりチラシの封入が無くなりましたが、「二十歳を祝う会」の参加者へ喫煙防止やメンタルヘルスに関するリーフレットを1,472部配布しました。		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	— 千円	決算額 — 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2－3 思春期の健康教育の充実

①性や性感染症予防および喫煙・薬物乱用防止に関する知識の普及

61	20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーン (未成年者飲酒・喫煙防止キャンペーン)				担当課	健康課 社会教育課
事業概要及び今後の方向性						
20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーンは、市内の酒及びたばこ小売組合が、20歳未満者の健全な育成の一助とするため、駅頭にて「20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーン」を行うものです。実施に際しては、市をはじめ市教育委員会、春日部警察署、春日部税務署などが後援・支援を行うほか、市内の高校生の協力を得て、キャンペーン用チラシ・ティッシュを配布しています。また、「二十歳を祝う会」の参加者へリーフレットを配布するものです。 今後も、引き続き啓発に努めます。						
※民法改正に伴い、従前”未成年者”と表記していたものを”20歳未満の者”へと表記を変更						
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
配布枚数			10,000枚		10,000枚	
目標値の根拠			実績等から現状値を維持していくことを目標とします。			
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価
10,000枚		1472枚		14.7%		B
実施予定内容		・20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーンでキャンペーン用チラシ・ティッシュを配布します。 ・「二十歳を祝う会」の参加者へ喫煙防止に関するリーフレットを配布します。				
実施内容		20歳未満の者の飲酒・喫煙防止キャンペーンではキャンペーンティッシュを市内高等学校の全校生徒に配布しました。今年度よりチラシの封入が無くなりました。 また、「二十歳を祝う会」の参加者へ喫煙防止やメンタルヘルスに関するリーフレットを1,472部配布しました。				
予算/決算		令和5年度				
		予算額	—	千円	決算額	—円

62	保健体育・健康教育				担当課	指導課	
事業概要及び今後の方向性							
保健体育・健康教育は、授業や講演会を通して、飲酒、喫煙、薬物乱用の健康被害等や性に関する事柄に関して、児童生徒が正しい知識を身につけていくことを推進するものです。 外部講師を招いた講演会や防止教室等の実施をして、今後も、引き続きこどもの心に響く健康教育となるよう工夫・改善を図ります。							
指標				現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
喫煙、飲酒、薬物乱用等に関する防止教室の実施				37校全校で実施		34校全校で実施	
目標値の根拠				引き続き市内小中学校・義務教育学校34校全校での実施を目標とします。			
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価	
34校		34校		100.0%		A	
実施予定内容		・児童生徒が正しい知識を身に付けられるように、指導研修会の案内、啓発資料の案内をします。また、外部講師による講演会や防止教室実施後も、計画的、継続的に児童生徒に指導をします。					
実施内容		・薬物乱用防止を図るため、外部講師を招いて講演会や授業を行いました。 ・性に関する指導について、保健体育や道徳、特別活動などで発達段階に応じて行いました。 ・感染症予防について、日常生活や授業を通して行い、丈夫な体づくりをしました。					
予算/決算		令和5年度					
		予算額	—	千円	決算額	—	円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-4 地域で支える小児医療の充実

①小児医療の確保・充実

63	春日部市小児救急夜間診療所の運営	担当課	健康課
事業概要及び今後の方向性			
平成28年7月1日の春日部市立医療センターの開所に際し、旧春日部市立病院の一部門であった小児救急夜間診療部を独立させ、春日部市小児救急夜間診療所を開設しました。 当診療所では中学校・義務教育学校卒業前までの救急患者を対象に、かかりつけ医療機関が終了した後に容態が急変し翌日までに緊急な治療が必要な場合に、一次救急医療として内科の診療を実施するものです。今後も、小児一次救急医療体制の充実を図ります。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
診療所において「とても良い」と評価する利用者		67.1%	71.2%
目標値の根拠		70%以上の利用者に、とても良いとの評価が得られる診療体制を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
71.2%	76.5%	107.4%	A
実施予定内容	・平日夜間に小児内科の診療を実施し、小児の一次救急の診療体制を維持します。 ・広報紙及びホームページへの掲載やリーフレット配布により広く周知することで、安心して子育てができる環境を整えます。 ・患者へのアンケートを実施し、より満足度の高い運営となるよう努めます。		
実施内容	中学校卒業までの救急患者を対象に、かかりつけ医療機関が終了した後に容態が急変し翌日までに緊急な治療が必要な場合に、一次救急医療として内科の診療を実施しました。広報紙やホームページへの掲載、リーフレットの配布により事業内容を広くPRしました。		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	49,855 千円	決算額 42,438,821 円

64	小児救急医療支援事業	担当課	健康課
事業概要及び今後の方向性			
小児救急医療支援事業は、緊急入院・手術の必要な小児の救急患者を対象に、埼玉県東部南地区の6市1町（春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町）で実施している病院群輪番制において二次救急医療として診療を行うものです。 今後も、現在の体制を維持するとともに、新たな参加を促すため、医療機関への働きかけを行います。			
指標		現状値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
小児救急医療支援事業への市内の参加病院		1病院	1病院
目標値の根拠		新たな参加を促しつつ、現状維持を目標とします。	
令和5年度目標値	令和5年度実績値	令和5年度進捗率	評価
1病院	1病院	100.0%	A
実施予定内容	第二次救急医療体制として、6市1町の東部南地区救急医療圏において、輪番制で小児救急医療支援事業(二次救急)を実施し、休日や夜間における小児の二次救急患者の受け入れ体制を維持します。(実施日数366日間)		
実施内容	第二次救急医療体制(二次体制)として、6市1町の東部南地区救急医療圏において、輪番制で小児救急医療支援事業(二次救急)を実施しました。(実施日数365日間) ※決算額は春日部市負担分の金額のみ（他市町、県負担分は含まない）		
予算/決算	令和5年度		
	予算額	1,515 千円	決算額 1,514,765 円

基本目標 2 子どもの健やかな成長の支援 2-4 地域で支える小児医療の充実

①小児医療の確保・充実

65	在宅当番医制運営事業				担当課	健康課
事業概要及び今後の方向性						
在宅当番医制運営事業は、救急患者を対象に、日曜日・祝休日及び年末年始における急な発熱などの病気やけがの診療を、初期救急医療として市内の医療機関が交代で実施するものです。 今後も、日曜日・祝休日及び年末年始に小児科を受診することができる体制を維持します。						
指標			現状値（平成30年度）		目標値（令和6年度）	
在宅当番医制運営事業で小児を診療する医療機関の数（1日あたり）			1医療機関		1医療機関	
目標値の根拠			1医療機関の小児科が当番医として診療していますので、維持することを目標とします。			
令和5年度目標値		令和5年度実績値		令和5年度進捗率		評価
1医療機関		1医療機関		100.0%		A
実施予定内容		・日曜日、祝休日及び年末年始において、市内医療機関が交代で診療を実施し、休日における初期救急患者の診療体制を維持します。 ・広報紙やホームページ等により事業内容を広く周知することで、市民が安心して暮らせるような環境を整えます。				
実施内容		休日昼間における急な発熱などの病気やけがの診療を、初期救急医療として市内の医療機関が交代で実施しました。また、広報紙やホームページ等により事業内容を広くPRし、市民に周知を図りました。				
予算/決算		令和5年度				
		予算額	10,998	千円	決算額	10,997,250円